



くみあいだより

JAなんぽろ



JA なんぽろホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

町内住民へ地元農産物をPR

11月11日（月）から、4日間にわたり金融部職員による地元農産物およびJAのPRのためのお宅訪問を行いました。

金融部では、お宅訪問を通じて町内住民と積極的に接点を持ち、地域との信頼関係の構築から将来におけるJA総合利用を目的に行っています。

今回のお宅訪問時には、お話を聞いていただいたお宅には南幌産米「ななつぼし」300グラムを2袋、契約していただいた方には、JAバンクグッズをプレゼントしました。

これからも当JAは、町内住民の皆様と身近に積極的に接し、地域に欠かせない存在になれるよう努力していきます。



JA YOUTH

青年部だより

発行者
JAなんぼろ青年部
編集責任者 木村 友紀

南幌農業ポスターコンクールを開催

当JA青年部では、食育班事業として、南幌小学校5年生を対象になんぼろ農業ポスターコンクールを開催しました。

今年度のテーマは「なんぼろでとれる好きな食べ物！」と題し、南幌小学校5年生にポスターの製作を依頼し、南幌町で取れる好きな野菜をたくさん描いてもらいました。

選考では、食育班会議で6点選考し、最終選考は例会時に盟友が金・銀・銅賞を選考いたしました。

後日、南幌小学校へ報告を行い、入賞者には、南幌特産品の詰め合わせセット、絵を提出して頂いた児童には参加賞として自分の絵が描かれたなんぼろピュアライス「ななつぼし」2合を贈呈しました。



▲左：金賞・中：銀賞・右：銅賞

北見市で南幌産米をPR販売

11月8日（金）、北見市で当JA青年部盟友2名と職員2名が南幌産米「ななつぼし」のPR対面販売を行いました。

今回は、北見市にあるイトーヨーカ堂で開店と同時にPR対面販売を行いました。

対面販売時には、お米の特徴はもちろん、南幌町の紹介や南幌町で作られている農産物の紹介も同時に行った結果、販売したお米は、想定していた数量よりも上回る事ができました。

また、お米の販売に際し、購入されたお客様には、南幌町の特産品であるキャベツ・キムチをプレゼントしました。

町外での対面販売は実施することがあまりない中、今回の様な遠い地域で南幌町のPRが出来たことは大変良い経験に繋がり、これからもこのような活動を行っていききたいと思っています。



女性部短信

◆JA北海道女性大会・北海道家の光大会

11月7日（木）、8日（金）、札幌市のシャトレーゼ・ガトーキングダムにてJA北海道女性大会・北海道家の光大会が行われ、当JA女性部から3名が参加致しました。

1日目は、講演が行われ、「学ぼう、地域でとりくもうSDGs」と題し、SDGsとはどのようなものかわかりやすく説明されました。次に、家の光記事活動体験発表が行われ、各単組の発表者が家の光を活用し、どのように自分に影響を与えたのか発表していました。2日目は家の光持ち寄り読書や手作り工夫展が開催され、当JA女性部からも3点の作品を出品しました。



令和元年度 JA北海道女性リーダー研修会-北海道家の光大会



◆女性部懇談会

11月12日（火）、由仁町ユニニの湯にて、令和元年度女性部懇談会が開催され29名の女性部員が参加しました。

懇談会の最初には、「フラワーボールペン」の作品制作が行われました。自分の好きな模様に押し花を並べ、世界に1つだけのボールペンを作りました。

作品制作の後は、昨年に引き続き、総務課職員を講師に招き、私たちの住んでいる町にある農協「JAなんぼろについて学ぼう」と題した懇談会を行いました。内容は当JAの総会の様子や運営状況、また、第14次農協事業中期3カ年計画について簡単に分かりやすく学びました。その後、昼食に豪華なお弁当を頂き、自由時間には温泉に入ったり部屋でのんびりと過ごし、久しぶりの再会に皆さん話がおおいに盛り上がりました。

今回の懇談会は、勉強だけではなく作品制作や食事、温泉なども楽しむことができ、とても有意義な懇談会となりました。



長船技師による営農情報！



★令和元年を振り返って

本年の野菜生産は気象変動が激しく定植後の管理作業等で、苦労された面が多い年だったかと思います。今年の栽培上の課題を3点上げ、その対策を来年の生産に活用して下さい。

1 本年の特徴的な気象経過

(1) 霜害

ブロッコリー、キャベツの1～3作型とハウスピーマンの移植後、4月20日～28日の間に数回の降霜があり葉の黄化や枯死が発生し、一部で廃耕や植え替えが行なわれ、生育が7～10日遅延した。

表1 平成31年4月19～28日最低気温比較(抜粋)

単位℃

	19日	20日	21日	22日	23日	27日	28日
南幌町	-1.3	-2.4	-3.5	-0.6	-2.3	-0.4	-2.7
長沼町	-0.5	-0.3	-2.1	2.0	-1.3	0.7	-2.5

表1：長沼アメダス・南幌町三重マメダスより作成

技術対策：降霜を受けた作物の葉色が青い場合は葉面散布して生育の回復を待つ。

べた掛け資材を使用する場合、作物の成長に合わせてゆとりある被覆を行なう。

(2) 降雨不足

本年4月～7月の積算降水量は185.5mmで平年対比63%となり、ながねぎ・ブロッコリー、キャベツは定植後、活着が遅れ生育遅延となった。

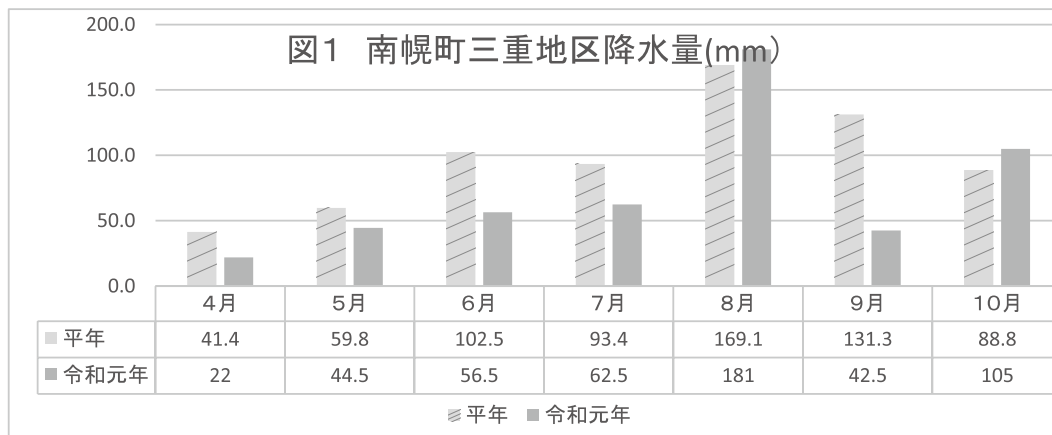


図1：平年値は南幌町三重の平成20～30年の降水量より算出

技術対策：スプリンクラーや点滴灌水を行ない生育促進を進める。

2 本年の病害虫発生状況

野菜類の病害の発生は全体的には少なかったが、タマネギバエ、ネギアザミウマの発生は多い傾向となった。

表2 主要病害虫の発生概況

作物名	病害虫名	近年の発生状況		本年の発生期・発生量	
		29	30	発生期	発生量
たまねぎ	白斑葉枯病	△	□	並み	少
	軟腐病	□	◎	—	少
	タマネギバエ(タネバエ含む)	△	△	—	やや多い
	ネギアザミウマ	△	△	早	多い
ねぎ	さび病	△	△	—	少
	ネギアザミウマ	△	△	早	並
キャベツ	コナガ	△	△	並み	少
	ヨトウガ	△	△	早	少
ブロッコリー	コナガ	(◎)	□	並み	やや少
	ヨトウガ	(△)	□	早	やや少

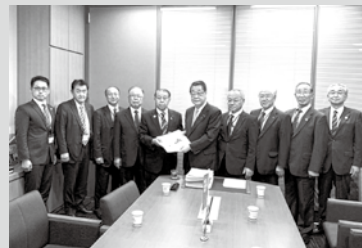
注：◎やや多～多、□並、△やや少～少、()は平年値がない

表2：北海道病害虫防除所 病害虫発生予察情報19号より抜粋

技術対策：アザミウマ等は高温少雨の干ばつ状態が続くと多発すると言われ発生初期の防除の徹底と雑草の除去など環境の清掃に努める。



JAグループ北海道は11月14日に東京都にて、「経営所得安定対策の単価改定」と「総合的なTPP等関連政策大綱の見直し」に向け、道内与党国会議員や農林幹部に対する中央要請、並びに農林水産省と意見交換を実施しました。経営所得安定対策では3年に一度の単価改定の見直し議論が行われていることから、輪作バランスや畑作経営に対する影響を考慮し、単価が大きく変動しない単価設定とすることや、各作物の生産振興対策などを求めました。TPP等関連政策大綱の改訂にあたっては、相次ぐ大型貿易協定の発行による、中長期的な北海道農業に与える影響が大きいため、各作物別の需給調整・価格安定対策の充実強化、生産基盤の強化に向けた対策を求めました。今後も、北海道の農家、組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。



JA北海道信連



収穫体験や調理体験等の独自イベント、「旬食カレッジ」は今年で4年目となり、今回は一般の女性の方を対象に、8月、江別市で開催しました。また、全道各JAの協力を受け、今年度から新たに「親子で学ぼう! あぐりキッチン教室」を、全道各地で延べ25回開催しました。これらの食農教育活動を通じて、食や農に対する関心を高め、JA・JAバンクのサポーターを育てる取り組みを行っています。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、「2019年度 JA共済全道小中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を10月26日(土)にANAクラウンプラザホテル札幌にて開催しました。46回目を迎える同コンクールは、全道より3,296点の応募をいただき、その中から金賞9作品が選出され受賞されたみなさんが表彰されました。

今回受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されています。



ホクレン



ホクレンと北海道米販売拡大委員会は10月17日、北海道産の2019年新米発表会を東京都内で開きました。発表会には鈴木直道・北海道知事とCMキャラクターを務めるタレントのマツコ・デラックスさんらが出席しました。ホクレン内田和幸会長より「今年は、ご満足いただけるおいしい北海道米をお届けできます」とアピールし、マツコさんはステージ上で新米を試食し、「実は一番好きなのがこの『ふっくりんこ』」と楽しいトークで盛り上がりしました。



JA北海道厚生連



10月23日(水) ホテルポールスター札幌において、令和元年度北海道福祉のまちづくり賞の表彰式が行われ、JA北海道厚生連特別養護老人ホーム摩周が公共的施設部門の「北海道福祉まちづくり賞」を受賞しました。この賞は福祉の配慮に優れた公共的施設等におくられるもので、福祉・建築・市民活動等の有識者で構成する会にて審査が行われ表彰が行われました。この賞を機に施設としての充実だけでなく、入居者の皆さんの生活の充実に向けて更なる向上を目指したいと思います。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ <https://org.ja-group.jp/>

JAバンクなんぽろ

令和元年.11/18月

2019

~12/30月

Winterキャンペーン

店頭標準金利の

4倍

定期貯金
新規預入で

0.04% (税込)

(預入金額10万円以上が対象)

店頭表示金利 + 0.03%

店頭標準金利の

4倍

定期積金
新規ご契約で

0.04% (税込)

(満期契約金額12万円以上が対象)

店頭表示金利 + 0.03%

今ある定期貯金も
金額上乗せで
金利UP

上乗せ金額

店頭表示金利からの
上乗せ金利 (税込)

20万円以上 100万円未満

+0.02%

100万円以上

+0.03%

※キャンペーンの預入期間は1~3年とさせていただきます。

※定期貯金、定期積金の中途解約時については、解約利率となります。

※令和元年11月8日現在の店頭金利。
(スーパー定期 0.01%) (定期積金 0.01%)

※キャンペーン金利は税込みとなります。

※なお、平成25年1月1日から令和19年12月31日までに支払われる利息には復興特別
所得税が適用されるため、20.315%(国税15.315%、地方税5%)の税金がかかります。
(但し、マル優ご利用の場合は除きます)

詳しくはJAバンク窓口までお問い合わせ下さい。

空知郡南幌町栄町1丁目4番7号

電話 011-378-1891 (直通)

営業時間：午前9:00~午後3:00



JAなんぽろ

JAバンクなんぽろ

豊かな老後に備えて

農 業 者 年 金

に加入しましょう！

1 政策支援を受けるとこんなにお得！

20歳から40年間単純に積み立てた場合

$$2\text{万円} \times 12\text{ヶ月} \times 40\text{年間} = 960\text{万円}$$

20歳

60歳



以下の要件を満たせば、毎月の積立2万円が1万円の自己負担で済みます！

216万円も
お得！国庫補助があるため960万円の積立が **744万円** の自己負担で実現

国庫補助(1万円)	国庫補助(6千円)	保険料(自己負担) 2万円
保険料(自己負担) 1万円	保険料(自己負担) 1万4千円	
20歳	35歳	40歳

+

運用益

(保険料と国庫補助分を基金が運用)
H20～29の運用利回りの平均は3.41%

運用期間: 20歳～65歳

支援要件と月額保険料

※支援期間は通算で最長20年間(うち35歳以上の期間は最長10年間)

39歳までに加入し、農業所得が900万円以下で、以下のいずれかに該当する方は、通常2万円の保険料のところ、実際支払う保険料は、それぞれ以下のとおりとなります。

- (1) 認定農業者で青色申告している者
- (2) 認定就農者で青色申告している者
- (3) (1)又は(2)の者と家族経営協定を結んで経営参画している配偶者・後継者
- (4) 認定農業者又は青色申告者で3年以内に(1)になることを約束した者 → 1万4千円(35歳未満)、1万6千円(35歳以上)
- (5) 35歳まで(25歳未満は10年以内)に(1)になることを約束した後継者 → 1万4千円(35歳未満)

1万円(35歳未満)、1万4千円(35歳以上)

2 政策支援を受けない場合でも、納付された保険料は、農業者年金基金が安全性と一定の利回りの確保を目指して運用します。

※H20～29の運用利回りの平均は3.41%です。ただし、これは過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。運用結果により、年金原資が保険料納付総額(元本)を下回る可能性もあります。

3 年間60日以上農業に従事し、60歳未満の国民年金第1号被保険者(国民年金の保険料納付免除者は除く)であれば、誰でも加入できます。

4 保険料は月額2万円～6万7千円の間で自由に決めることができます。

5 税制面で大きな優遇措置があります。※世帯員全員の保険料が社会保険料控除の対象となります。

農業者年金のご相談については、お近くの農業委員会かJAまたは農業者年金基金にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】独立行政法人農業者年金基金 専門相談員 (TEL:03-3502-3199)

農 林 水 産 省

独立行政法人農業者年金基金

理事会報告

11月18日

11月定例理事会で審議された主な内容について、次のとおり報告申し上げます。

【議案】

- 1、秋の経営懇談会の開催日程について
- 2、規程の改正について
- 3、理事会の諮問審議委員会の学識経験者委員の選任について

【報告事項】

- 1、営農振興組合長会議について
- 2、エコープなんぼろ店 上半期の運営状況について
- 3、令和元年度 南幌町穀類乾燥調製貯蔵施設の水稲操業状況について
- 4、10月末 農産物保管状況について
- 5、10月末 蔬菜販売状況について
- 6、内部監査の実施報告について
- 7、令和2年度 職員採用の内定について
- 8、令和元年度 寄付金および負担金の支出について
- 9、令和元年12月から令和2年4月までの主要日程について
- 10、10月末財務状況について

豊穣の秋を迎えて

11月18日（月）、南幌神社で収穫感謝祭が行われ、林組合長をはじめ、役員や各部署の部長・室長、青年部長、女性部長らが参加しました。

今年は、天候や自然災害による影響が少なく、豊穣の秋が迎えられたことに感謝し、玉串の奉納を行いました。来年も今年以上の豊穣の秋や組合員、JA職員等の無病息災を祈願して、お祓いをしていただきました。



～表紙の紹介～

◎今月号の表紙は、白倉千春さん（鶴城）に表紙を飾っていただきました。



私達のJA

令和元年10月末日現在

組合員	2,769名
(前年同期比)	▲38名
正組合員	454名
(前年同期比)	▲14名
准組合員	2,315名
(前年同期比)	▲24名
正組合員戸数	291戸
(前年同期比)	▲8戸

編集後記

・とうとう今年もあと1ヶ月となりました。日に日に1日や1年があっという間に感じています。今年を思い返すとプライベートで旅行にあまり行っていない気がしますので来年こそは旅行にたくさん行きたいと思っています。

くみあいだより担当の平井は、女性部のJA北海道女性リーダー研修会、北海道家の光大会に参加しました。



発行 JAなんぼろ 〒069-0293 空知郡南幌町栄町1丁目4番7号
TEL 011-378-2221 (代表)、011-378-2274 (直通) FAX 011-378-0846 発行日 令和元年12月5日
ホームページ <http://www.ja-nanporo.or.jp> メールアドレス koho@ja-nanporo.or.jp

企画・編集 営農部農業振興課 印刷 北海道リハビリ